

# さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく  
令和6年5月2日

さわやか相談室 Tel 048-865-7573

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 Tel 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

## 心柱（しんばしら）



校長 高山 俊介

皐月の陽射しが差し込む中、新緑がまばゆく輝き、つつじやさつきの花が美しく映える季節となりました。入学・始業式からひと月が過ぎ、大きな環境の変化となった新入生のはつらつと授業に取り組む姿にはおが緩みます。また、先輩たちは、中学に入学し、初めての生活班（対面）での給食の時間に最初はぎこちない様子がみられたものの、徐々に慣れたようで、楽しそうに会食しています。日常が戻ってきた喜びに、各所の鯉のぼりが一層気持ちよく泳いでいるように感じます。

また、この時期は、新入生の初々しさと先輩たちの逞しさ、各学年の発達段階を如実に実感します。特に第3学年の生徒たちは、始業式への臨み方や給食の準備のはやさ、体育授業の1年生への模範授業など、さすが最上級生という態度です。そして、生徒会長の入学式時の「歓迎の言葉」や生徒会による新入生への学校生活オリエンテーション、部活動の仮入部などの中心となり、内谷中の大黒柱となっている生徒たちを見るにつけ、先生方の日々の指導を誇らしく思います。今年度も引き続き、「デジタル教材、ICT端末の効果的な活用と話し合い活動による授業実践」や「対面式とオンライン配信による儀式的行事の実施」など、新しいものと時代を超えて変わらない価値あるものを掛け合わせ、より生徒たちの成長となる教育活動を推進していこうと決意を新たにしました。

そのような令和元年以来の年度当初が戻った卯月に、NHKの「プロジェクトX」が18年ぶりに復活しました。634mという日本一の電波塔建設をテーマにした第1回の「東京スカイツリー 天空の大工事」を録画で視聴し、都心ゆえ限られた敷地で東海地震、東南海地震、南海地震の同時発生を想定した「制振構造※」を設計するのに、法隆寺の五重塔の内部「心柱（しんばしら）」という構造に着想を得たという点に大変感銘を受けました。法隆寺の五重塔が、1300年以上前に建立され、幾度となく発生した地震にも一度も倒れたことがないということから、人生の歩みにも志や信念といった心柱が必要であるとともに、このことは不易であると再認識いたしました。今年度は、ゴールデンウィーク明けに第3学年の生徒たちが校外学習の集大成として、古（いにしえ）の都に旅立つ、修学旅行に臨みます。悠久の時を経て、今もなお大切に保存され、受け継がれている歴史的建造物などの「本物」に学んできてくれることを期待しています。

※ 制振：揺れのエネルギーを吸収する装置で、揺れを小さくする  
耐震：地震で壊れないよう硬く、強くする  
免震：地震の揺れを伝えにくい柔らかい層を追加する

